

夏のおたより「暑中お見舞いはがき」

残暑見舞いは、立秋(8月7日)を過ぎてから8月末頃までの期間に出します。

PFC アドバイザーの皆さんから届いた残暑見舞いのおたよりの作成例を紹介します。皆さんも残暑見舞いのはがきを書いてみましょう。



コラージュで残暑見舞い 塩野ゆりさんの作成例

白、黒、灰色の紙を用意する。ペンギンの絵を下書きしてパーツを分けてハサミやカッターで切り抜き、ペンギンに組み立ててはがきに貼る。

白、淡水色の上を用意する。白色を長方形に切り「暑中お見舞い申し上げます」と書き、ペンギンに持たせる。淡水色上を吹き出し型に切り抜き、メッセージを書いて貼る。

キラキラ折り紙の水色、銀色を大・中・小の丸パンチで抜きバランスよく貼り、完成です。

【用意する物】

紙(白、黒、灰色、淡水色)、キラキラ折り紙(水色、銀色)、ハサミ、カッター、丸パンチ、ペン(黒、青)



消しゴムはんこを使った残暑見舞い 山田澄枝さんの作成例

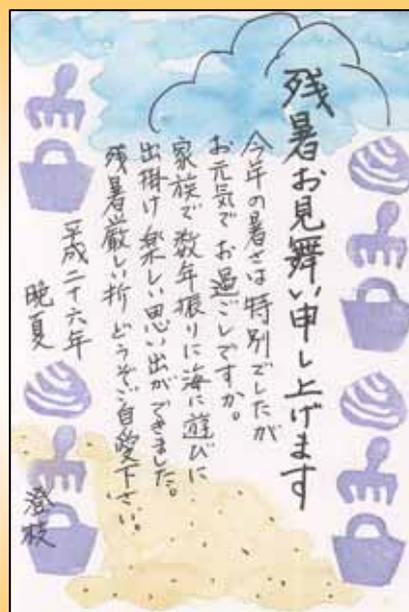
貝、熊手、バケツなど夏らしい消しゴムはんこを押す。

絵の具で、空と砂山をイメージして色をつけ、雲と砂の点々を書く。

言葉を丁寧に書いて完成です。

【用意する物】

消しゴムはんこ、黒ペン、絵の具(水色、黄土色) インクスタンプ(水色)



『残暑お見舞いはがき作品例』

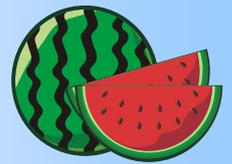
野菜スタンプ 杉野文香さん



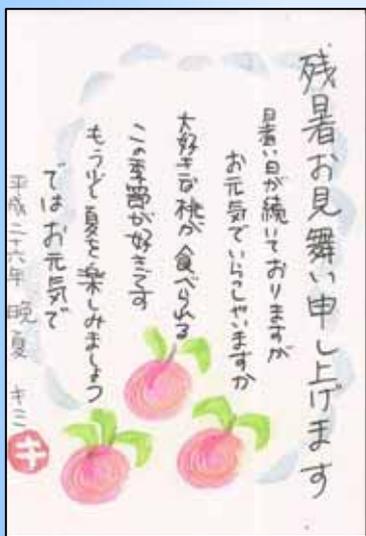
布コラージュ 藤井智美さん



ステンシル 北橋 恵さん



野菜スタンプ 佐藤キミさん



使用済み切手と絵手紙 高橋裕子さん

